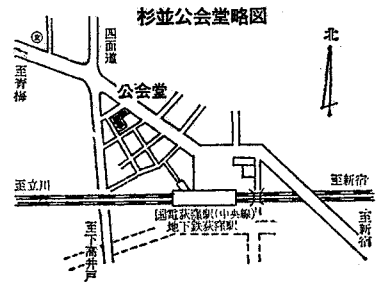


昭和46年度 夏期講習会 —土木技術者の法律講座— ▶ 9月16日(木)～17日(金) ◀

本年度、土木学会夏期講習会は「土木技術者のための法律講座」をテーマに下記により実施いたします。

当講習会は、① 土木技術者が日々遭遇する法律の概略説明、② 関係各法律の運用上の注意事項、③ 工事制の適用法律の説明および運用方法、④ その他、日常第一線の土木技術者の活動に直接関係する話題を取り上げて簡明に解説、指導を得ようとするものであります。官公庁、地方庁の技術者、建設会社、コンサルタントの技術者、就職をひかえた学生諸君、その他関係各位の多数ご参加を希望致します。



記

1. 期 日：1971年9月16日(木)～17日(金)の2日間
2. 場 所：杉並公会堂(国電・地下鉄荻窪駅 北口下車徒歩5分)
3. 参 加 費：(テキスト代含む) 会員 3 000 円・非会員 4 000 円
4. テキスト：土木技術者のための法律講座
5. テーマ：土木技術者のための法律講座
6. 題目・講師および日程：

第1日；9月16日(木)

9.30～9.45	開会挨拶	土木学会会長	高野 務
9.45～10.45	総論 会計法・予決算	建設省大臣官房	山本 重三
10.45～12.15	建設業法・公害対策基本法・騒音規制法	建設省計画局	西川 龍三
12.15～13.00	昼食・休憩		
13.00～14.00	水質汚濁防止法	環境庁水質保全局	米村 紀幸
14.00～15.10	労働基準法および関係法令	労働省安全衛生部	加来 利一
15.00～15.10	休憩		
15.10～16.30	道路交通関係法令(ただし、軌道法を除く)	建設省道路局	横沢 伯達

第2日；9月17日(金)

9.30～10.15	火薬類取締法令	通産省公害保安局	伊藤 清蔵
10.15～11.15	河川関係法令	建設省河川局	岩本 章雄
11.15～12.00	港湾関係法令	運輸省港湾局	浜崎 哲史
12.00～12.50	昼食・休憩		
12.50～13.50	都市計画法・公園法	建設省都市局	並木 昭夫
13.50～14.35	下水道法	建設省都市局	安藤 茂
	水道法	厚生省環境衛生局	山村 勝美
14.35～14.45	休憩		
14.45～15.40	建築基準法	建設省住宅局	浪岡 洋一
15.40～16.20	宅地造成等規制法	建設省計画局	藤條 邦裕
16.20～16.30	閉会挨拶	行事企画委員会委員長	森 茂

7. 申 込 方 法：本紙添布の用紙に氏名、勤務先、連絡先を明記のうえ、参加費を添えて現金書留で土木学会事業課(〒160 東京都新宿区四谷1丁目・電話(03)351 5138)あて8月31日までに申込み下さい。なお、満員の場合はお断りすることがありますのでなるべくお早目をお願い致します。

## 日本学術会議 第 9 期 会員選挙立候補者の推薦

本年 11 月行なわれる標記選挙の立候補者の推薦につき、理事会において協議の結果、土木学会では次の 5 名の方を推薦することになりましたので、お知らせ致します（五十音順）。

（全国区第 5 部 土木工学）

石原 藤次郎 君	昭和 5 年京都大学卒	工学博士
	京都大学教授 専攻	河海工学
国分 正胤 君	昭和 11 年東京大学卒	工学博士
	東京大学教授 専攻	コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学

（地方区第 5 部 土木工学）

伊藤 富雄 君	昭和 18 年京都大学卒	工学博士
	大阪大学教授 専攻	土質工学
河上 房義 君	昭和 11 年東京大学卒	工学博士
	東北大学教授 専攻	土質工学
成岡 昌夫 君	昭和 15 年京都大学卒	工学博士
	名古屋大学教授 専攻	構造力学

## 「構造物およびその構成要素の強度と安全性」に関する研究発表論文募集

### （第 18 回橋梁・構造工学研究発表会）

例年行なわれております橋梁・構造工学研究発表会を本年度は標題のテーマにより、下記のとおり開催致します。趣旨につきましては、本誌 3 月号にも予告致しましたが、多数の方がふるって論文提出にご応募下さい。

1. 期 日：1971 年 12 月 3 日（金）
2. 共 催：日本学術会議構造研究連絡委員会・土木学会・日本建築学会
3. 会 場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷 1 丁目）
4. 申込要領：
  - （1）論文内容：次の各項に関する独創的な実験あるいは、理論的研究を対象とする。
    - ① 繰返し荷重をうける構造物の挙動と強度
    - ② 構造物およびその構成要素の耐荷特性、特に初期不整、残留応力などの影響
    - ③ 接合および接合部の挙動と安全性の評価
    - ④ 構造物およびその構成要素の強度、変形態にもとづく安全度の評価
  - （2）申込方法：8 月 31 日までに、論文題目、発表者氏名（連名の場合は登壇者に○印をつける）、勤務先、および連絡先と 100 字以内の内容概要を添えて、学会宛お申込み下さい。  
採否は日本学術会議構造研究連絡委員会にお任せ願います。  
採用のうへは 10 月 15 日までに講演原稿の提出をお願いすることになります。

## 工事計画と施工管理講習会

▶ 8 月 2 日（月）～4 日（水）◀

主催：土木学会高橋土木教育研究委員会・東日本高校土木教育研究会・西日本高校土木教育研究会

1. 期 日：1971 年 8 月 2 日（月）～4 日（水）  
（ただし、4 日は希望者による見学会）
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷 1 丁目）
3. 参加費：2500 円（テキスト代とも、当日受付にて申し受けます）
4. 申込方法：電話で土木学会編集課（03-351-5130）へご連絡下さい。

## 映画会開催について&lt;土木学会講堂&gt;

▶ 8月14日(土) ◀

1. 場 所：土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目 国電・地下鉄四ツ谷駅下車）
  2. 日 時：毎月第2土曜日 14.00～8月14日(土)です。
  3. 上映映画：
    - 「プレストレストコンクリート・原理と応用」
    - 「レオパ・レオンハルト工法」
    - 「新レオンハルト工法」
    - その他「デビィダーク工法」関係1本を予定しております。
    - 9月にも「PC関係」の映画「VSL工法」、「SWA工法」、「ピルツ工法」等を予定しておりますので、ご期待下さい。

なお、上映映画は都合により変更することがございますのであらかじめご了承下さい。
  4. 参加費：無料、土木関係以外の方も歓迎致します。
- 本映画会に関する問合せは 土木学会視聴覚教育委員会宛にお願い致します (TEL (03) 351-5130)。

## 第4回土木計画学講習会 東京会場8月19日(木)～20日(金)・福岡会場8月26日(木)～27日(金)

土木技術者が産業基礎整備・生活環境整備・防災等の土木事業をとおりて、社会の繁栄と福祉の増進に寄与するためには、必然的に計画の合理性を高めることが要求されます。

最近における土木事業は量・質ともに著しく増大しており、土木事業の計画部門に何らかの形で携わる技術者の数も非常に多くなってきています。その結果、ある程度体系づけられた手法が提供される場が求められるようになって参りました。

この間の事情に鑑み、土木計画の手法を中心に基礎的な理論と実際問題への応用を第一線の技術者に学んでいただくことを主なねらいとして、過去3回にわたって土木計画学講習会を開催致しましたが、今回引き続き「最適化手法とその土木計画への具体的な応用例」と題しまして、すぐに実務に応用できる手法の講習会を開催することとなりました。

とくに今回は、第1～3回の講習会において5～6題を扱っていたのを改めまして、1日2題・計4題に題目をしぼり、密度の高い講習会とする予定です。関係技術者のご参加をおすすめします。

1. 主 題：最適化手法とその土木計画への具体的な応用例
2. 主 催：土木学会土木計画学研究委員会
3. 期 日：東京会場/8月19日(木)、20日(金)  
福岡会場/8月26日(木)、27日(金)
4. 会 場：東京会場/土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷1丁目、電話(03)351-5138番）  
福岡会場/九州大学工学部防音第101番教室（福岡市箱崎町）
5. 参加費：会員 @ 3000円、会員外 @ 3500円（テキスト代を含みます）
6. プログラム：<第1日>
  - (1) 上下水道における最適化手法 末石富太郎・内藤正明(京大)
  - (2) 宅地造成における最適化手法 河原畑 良 弘(奥村組)
 <第2日>
  - (3) 鉄道における最適化手法 岩 橋 洋 一(国鉄)
  - (4) 港湾における最適化手法 工 藤 和 男(運輸省)
7. 申込方法：参加希望者は、①氏名、④所属部課名、⑧連絡先(所属)住所氏名、④会員区分、⑥連絡事項、等を記入した用紙に会費を添えて現金封書にて下記あて申込んで下さい。  
〒160 東京都新宿区四谷1丁番 土木学会事務局編集課
8. 定 員：東京会場/180名、福岡会場/150名
9. 備 考：不詳点は電話にて係員にご下問願いたい。(03)351-5130番

## 第7回 岩盤力学に関するシンポジウム講演募集

第7回岩盤力学に関するシンポジウムを下記により開催いたしますので、講演ご希望の方は、ふるってご応募下さい。

1. 期 日：1972年2月
2. 会 場：土木学会土木図書館講堂
3. 主 催：土木学会岩盤力学委員会
4. 講演申込要項：
  - (1) 内 容：岩盤力学に関する理論、実験、測定等（ダム、トンネル、爆破等への応用例も含む）
  - (2) 講演申込締切期日：1971年10月30日（土）
  - (3) 申 込 先：郵便番号160 東京都新宿区四谷1丁目土木学会岩盤力学委員会
  - (4) 申 込 要 領：講演題目、講演者氏名（連名の場合は登壇者に○印をつける）、勤務先、連絡先を明記のうえ、400字程度の内容梗概を付けてお申込み下さい。
  - (5) 講演原稿締切期日：1971年12月20日（月）
- 注 1. 講演時間は、1件討議を含め30分程度です。
2. 講演の採否、その他については、岩盤力学委員会にご一任下さい。
3. 講演概要はオフセット印刷と致しますため、講演者には学会所定の様式にしたがって、講演原稿を提出していただきます（1題目刷上和文4ページ（図表、写真を含み6480字）および英文梗概1ページ以内）。

中部支部行事案内（郵便番号460 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 愛知県土木部道路建設課内 052-961-2111 内線2430）

### (1) 昭和46年度第1回講演会

▶7月22日（木）◀

1. 日 時：1971年7月22日（木）13.30～
2. 場 所：愛知県庁西庁舎1階講堂
3. プログラム：
  - ① 13.30～13.40 開会あいさつ
  - ② 13.40～14.40 名古屋高速道路について
  - ③ 14.50～15.50 名古屋高速鉄道について
  - ④ 16.00～16.45 映画「名古屋市の地下建設について」

中部支部長 片山直樹  
名古屋高速道路公社 佐々木正久  
名古屋市交通局 三浦侃

4. 定 員：70名
5. 会 費：無 料

### (2) 昭和46年度技術講座

▶8月25日（木）◀

1. 日 時：1971年8月25日（木）9.30
2. 場 所：愛知県土木会館（名古屋市中区鍋屋町1-41）
3. 講演者および演題

- |                    |                    |      |
|--------------------|--------------------|------|
| ① 衣浦トンネルにおける沈埋工法   | 運輸省第5港湾建設局衣浦工事々務所長 | 松並仁茂 |
| ② 大沢くずれの砂防工事       | 中部地方建設局富士砂防工事々務所長  | 渡辺昌広 |
| ③ 長良川河口堰について       | 水資源開発公団長良川河口堰調査所長  | 小寺隆夫 |
| ④ 名古屋港コンテナ埠頭整備について | 名古屋港コンテナ埠頭株式会社     | 鈴木 謙 |

4. 定 員：400名

### (3) 昭和46年度第2回見学会

▶9月14日（火）◀

1. 日 時：1971年9月14日（火）9.00～
2. 見 学 先：名四国道および衣浦トンネル
3. 集 合 場 所：名古屋テレビ塔観光バス発着所 9.00
4. 定 員：50名
5. 会 費：200円

## (4) 昭和 46 年度研究発表会論文・報文募集

1. 日 時: 1971 年 11 月 12 日 (金)
2. 場 所: 金沢大学 教養部教室
3. 内 容: 土木工学・土木技術・工事報告
4. 応募方法: 支部事務局または金沢大学工学部土木教室 (金沢市小立野二丁目 40 の 20) 喜内 敏教授宛に発表題目, 発表者名を明記のうえ, 文書でお申込みください。申込みにより所定の原稿用紙と起稿要領などをお送りします。
5. 申込締切: 1971 年 8 月 8 日
6. 原稿締切: 1971 年 9 月 10 日
7. 原稿送付先: 金沢大学土木工学科 喜内 敏教授宛

関西支部行事案内 (郵便番号 541 大阪市東区船場中央 2 丁目 2 番地船場センタービル 4 号館)  
電話 06-271-6686 番 振替口座 大阪 82599 番

## (1) 第 4 回 (昭和 46 年度) 業務研究発表会

▶ 8 月 27 日 (金) ◀

- 主 催 建設コンサルタンツ協会大阪支部 後 援 土木学会関西支部
1. 日 時: 1971 年 8 月 27 日 (金) 9.25~17.05
  2. 場 所: 大阪科学技術センター 電話 大阪 (06) 443-5321 番  
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150 m 靱公園北東角)
  3. プログラム:
 

特別講演 (401 号室)	
13.00~14.00 崩壊と地すべりの予知と予防	神戸大学教授工学部 工博 田 中 茂
第 1 部会 (403 号室) 10.00~17.05	研究発表 9 題
第 2 部会 (401 号室) 9.40~17.05	各研究委員会の発表報告 4 題
第 3 部会 (404 号室) 9.25~17.05	映画 13 編
  4. 聴 講: 無料, 資料無料提供 (ただし部数に制限がありますので次により申し込んで下さい。)
  5. 申込方法: 参加希望者は往復はがき (1 名につき 1 通) に氏名・勤務先・連絡先 (住所・電話番号・所属部課名等) をご記入のうえ, 来る 8 月 10 日 (火) までに下記へお申し込み下さい。整理のうえ参加証ならびに資料引換券として返送いたします。
  6. 申 込 先: 建設コンサルタンツ協会大阪支部第 4 回 (昭和 46 年度) 業務研究発表会実行委員会  
〒 530 大阪市北区与力町 1 丁目 15 番地 北末広ビル 電話大阪 (06) 351-9369 番

## (2) 「工事管理の問題点を探る」研究会

▶ 9 月 22 日 (水) ◀

(第 2 回) ——建設業界からの提起——

近年建設工事の大規模化, 複雑化と多様化, 技術の高度化と近代化は著しいものがあり, これに対応するため, 当関西支部では工程管理に関する講習会を昭和 44 年 3 月および 6 月に, さらに, その近代化を妨げるものと効果的な方法等を認識する必要から, 現実の問題点についてあらためて検討し直す立場の研究会として, その第 1 回——官公企業体からの提起——を昭和 45 年 4 月に開催しました。

今回は, この第 1 回に引き続いてのものであり, 受注者という立場である建設業界を提起者として, 業界・本社・現場レベルのそれぞれにおける現況・体制・安全・工程・品質・工費等の問題点に関して, 前回と同様に各提起者の一括発言と参加者からの随時発言によるパネルディスカッション方式で行なうものでありますが, 関係各位の積極的かつ多数のご参加をお願いし, また, 期待するものであります。

1. 日 時: 1971 年 9 月 22 日 (水) 13.30~16.30
2. 場 所: 大阪科学技術センター 4 階 404 号 電 (06) 443-5321  
大阪市西区靱 1-118 (地下鉄四ツ橋線本町下車北へ 150 m 靱公園北東角)

3. 問題点提起者および司会

開会挨拶	土木学会関西支部長	田中茂
問題点提起者	大阪建設業協会	中条博之
”	(株)奥村組 施工管理委員会事務局長	清瀬晶
”	(株)大林組 クラレ中山寺工事事務所長	海津智琢
司 会	京都大学工学部土木工学教室教授 工博	吉川和広
”	(社)建設コンサルタンツ協会大阪支部事務室長	柳田保男
閉会挨拶	土木学会関西支部幹事長	俊藤尚男

4. 定 員：100名(先着順)

5. 参加費：無料，参加歓迎

6. 申込方法：参加希望者は，勤務先，連絡先および氏名を明記(様式随意)し9月7日(火)までに土木学会関西支部へお申込みください。参加証をお送りします。

(付) テキスト頒布について

昭和46年度関西支部年次学術講演概要

頒 価	正会員	200円	送料150円
	学生会員	100円	” ”
	非会員	700円	” ”

構造物設計法の最近の進歩と問題点	”	1500円	” 120円(残部僅少)
土木工事における土中水の扱い方	”	1800円	” 120円
工事の安全対策	”	1200円	” 120円
プレストレストコンクリート最近の進歩	”	1400円	” 120円
工程管理(演習問題解答付)	”	1800円	” 150円
工事の安全対策	”	1200円	” 120円
土木工事における土中水の扱い方	”	1800円	” 120円

上記のテキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

西部支部行事案内 (郵便番号 810 福岡市薬院2丁目14番21号) 電 029-78-3716

(1) 夏期講習会

▶ 8月27日(金) ◀

1. 期 日：1971年8月27日(金)

2. 場 所：大分県九重ハイランドホテル

3. 講師および演題：

① 開会のあいさつ	西部支部長	川崎 偉志夫
② 県下の土木事業について	大分県土木部長	小原 豊
③ 最適設計の基礎について	宮崎大学教授	彦坂 良次
④ 軟弱地盤の安定処理について	熊本大学教授	梶原 光久
⑤ 大分製鉄所の概要について	新日鉄大分製鉄所製鋼部長	山本 全作
⑥ 河床変動の計算法	九州大学講師	平野 宗夫
⑦ 新熊本空港の計画設計および施工について	運輸省八代港工事事務所長	小沢 栄
⑧ 九州自動車道路(熊本県下)の建設について	日本道路公団熊本工事事務所長	高木 十七二
⑨ ふるさとを守る—九州の河(映画と講演)制作九州地方建設局		(講師未定)

4. 参加料：1000円

5. 備 考：200名まで先着順

(2) 見学会

▶ 8月27日(土) ◀

1. 期 日：1971年8月27日(土)

2. コース：

A班 九重発～新熊本空港～植木熊本間自動車道

B班 九重発～新日鉄大分製鉄所

3. 参加料：A班 1200円 B班 800円

◎参加申込：勤務先・氏名および宿泊日記載のうえ，講習会・見学会参加料および宿泊予約料 500円を添えて8月5日までに西部支部に申込みこと(1泊1700円とし500円は内払である)。

(3) 廃水処理工学講習会 —生物処理法を中心に—

▶ 8月30日(月)~31日(火) ◀

主 催：化学工学協会関西支部・化学装置九州懇話会  
 協 賛：日本化学会九州支部・日本下水道協会九州地方支部・土木学会西部支部

工業廃水処理の技術の向上および開発は社会保護および工業の発展のうえから重要なものであります。今回、廃水処理技術の中で経済的、実効的な方法として特に注目をあびている生物学的処理法について、微生物の働きなど基礎的な分野から、実際的な分野まで、各専門分野の方々にお話ししていただくことになりました。多数のご参加を期待しております。

1. 開催期日：1971年8月30日(月)、31日(火) 2日間
2. 場 所：九州大学工学部 防音101番講義室
3. プログラム：
 

第1日 8月30日(月)		
① 9.15~11.15	廃水処理における活性汚泥法	微生物工業技術研究所 応用技術部長 御 園 光 信
② 12.00~14.00	廃水処理の生物学	奈良女子大 教授 津 田 松 苗
③ 14.00~17.00	生物化学工学と廃水処理	東大応用微生物研究所 教授 合 葉 修 一
第2日 8月31日(火)		
④ 9.15~11.15	沈降分離法	九大工学部 教授 粟 谷 陽 一
⑤ 12.00~14.00	スラッジ処理法	月島機械(株)技術部主任 浜 口 利 男
⑥ 14.00~16.00	装置設計の考え方と実際	荏原インフィルコ(株)研究部長 井 出 哲 夫
⑦ 16.00~17.00	廃水処理装置に関する質疑応答	荏原インフルコ(株)井出哲夫・月島機械(株)浜口利男
3. 参 加 費：会員 5 000 円，会員外 7 000 円，学生 2 500 円 (テキスト代を含む)  
 協賛学会会員も会員と同様に取扱います。
4. テキスト：1部 1 500 円 (B5判，約 80 ページ)  
 テキストだけご希望の方は送料とも 1 600 円お送り下さい。
5. 定 員：120 名
6. 申込締切：8月10日(火)
7. 申込方法：氏名，所属学協会名，連絡先を明記し，期限内にお申込み下さい。参加費は，現金書留，振口替座(福岡 9508)または銀行振込(住友銀行福岡支店普通預金 45619)により化学装置九州懇話会あてご送金下さい。
8. 申 込 先：〒 812 福岡市箱崎九州大学工学部化学機械工学教室内 化学装置九州懇話会 電 64-1101 内線 3312, 3314

第 8 回 衛生工学研究討論会論文募集

土木学会衛生工学委員会は，下記の予定で研究討論会を実施しますので，論文提出者はお応募下さいますようご案内いたします。

1. 主 催：土木学会衛生工学委員会
2. 期 日：1972年1月28日(金)，29日(土)
3. 場 所：土木学会土木図書館講堂(新宿区四谷1丁目無番地)
4. 論文内容：本年度は自由題目といたします。
5. 申込方法：10月15日までに講演原稿を土木学会衛生工学委員会までご提出下さい。なお原稿は学会指定のオフセット原稿用紙(申込み次第送付)をご使用下さい。原稿枚数は8枚までとし，期限を厳守下さい。  
 昨年と同様，討議論文1~2編を附して印刷いたします。特定の討議者をご希望の場合は，希望討議者氏名を同封して下さい。
6. 申 込 先：土木学会衛生工学委員会(新宿区四谷1丁目)
7. 採 否：論文の採否は衛生工学委員会にご一任下さい。

## 土木学会刊行物送料の一部改正のお知らせ

46年4月17日より郵便料金のうち小包料金が一部改正となりましたため学会刊行物も送料を一部改正させていただきますのでご諒承下さい。

●丸巻經由で全国の主要書店でも扱いますが注文制のため多少の期日がかかります。この場合、会員特価は適用されません●

書名	判型・頁数	定 価	会員特価	旧 送 料	改正送料	
コンクリート標準示方書	B 6・438	1,000	800	100	150	
コンクリート標準示方書解説	A 5・354	1,300	1,000	100	150	
人工軽量骨材コンクリート設計施工指針(案)	B 6・34	300	250	50	50	
プレバッキングコンクリート施工指針(案)	B 6・38	220	180	50	50	
鉄筋コンクリート工場製品設計施工指針(案)	B 6・228	650	550	70	80	
昭和42年度夏期講習会資料 鉄筋コンクリート標準示方書関係資料	B 5・128	900	700	100	100	
コンクリートライブラリー第1号	コンクリートの話	B 5・48	200	150	60	60
+	第3号 異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート構造物の設計例	B 5・92	700	600	70	80
+	第7号 コンクリートの水密性の研究	B 5・36	120	100	50	50
+	第10号 構造用軽量骨材シンポジウム	B 5・96	500	400	70	70
+	第11号 継ぎ目空けて丸完のためのセメント注入における混和材料に関する研究	B 5・28	120	100	50	50
+	第14号 第2回異形鉄筋シンポジウム	B 5・236	1,100	900	90	130
+	第15号 ディビダーク工法設計施工指針(案)	B 5・88	700	650	80	80
+	第16号 単純曲げをうける鉄筋コンクリート桁及びプレストレストコンクリート桁の断面強さ設計法に関する研究	B 5・34	150	120	50	50
+	第17号 M.D.C.工法設計施工指針(案)	B 5・94	700	500	80	80
+	第18号 現場コンクリートの品質管理と品質検査	B 5・108	700	550	80	80
+	第19号 港湾工事におけるプレバッキングコンクリートの施工管理に関する基礎研究	B 5・38	220	200	50	50
+	第20号 フライアッシュを混和したコンクリートの中性化と鉄筋の発錆に関する長期研究	B 5・56	500	450	50	50
+	第21号 バウルク・レノンハルト工法設計施工指針(案)	B 5・100	700	650	80	80
+	第22号 レオバ工法設計施工指針(案)	B 5・84	700	650	80	80
+	第23号 B.B.R.V工法設計施工指針(案)	B 5・132	900	800	80	80
+	第24号 第2回構造用軽量骨材シンポジウム	B 5・132	1,100	950	80	80
+	第25号 高がセメントコンクリートの研究	B 5・96	550	500	80	80
+	第26号 鉄道橋としての鉄筋コンクリート斜角げたの設計に関する研究	B 5・28	200	180	50	50
+	第27号 高張力異形鉄筋の使用に関する基礎的研究	B 5・24	200	180	50	50
+	第28号 コンクリートの品質管理に関する基礎研究	B 5・28	200	180	50	50
+	第29号 フレンナー工法設計施工指針(案)	B 5・124	1,100	1,000	80	80
トンネル標準示方書解説	A 5・144	800	700	80	80	
シールド工法指針	A 5・138	800	700	80	80	



トンネル工学シリーズ第1号第1回トンネル工学シンポジウム	B 5・106	400	300	50	50
◇ 2 第2回トンネル工学シンポジウム	B 5・116	500	400	50	50
◇ 3 第3回トンネル工学シンポジウム	B 5・146	1,000	800	70	70
◇ 4 わが国シールド工法の実施例 第1集	B 5・338	2,200	1,800	110	170
◇ 5 第4回トンネル工学シンポジウム	B 5・268	1,800	1,600	100	140
◇ 6 第5回トンネル工学シンポジウム	B 5・120	1,000	900	80	80
◇ 7 第6回トンネル工学シンポジウム	B 5・246	1,800	1,600	100	140
第11回 海岸工学講演会講演集	B 5・286	1,500	1,500	110	170
第12回 海岸工学講演会講演集	B 5・258	1,500	1,500	110	170
第15回 海岸工学講演会講演集	B 5・372	3,500	3,500	110	170
第16回 海岸工学講演会講演集	B 5・384	3,000	3,000	110	170
第17回 海岸工学講演会論文集	B 5・440	3,800	3,500	110	170
海岸保全施設設計便覧	B 5・294	2,300	2,000	100	170
Coastal Engineering in Japan, Vol. 13 (1970)	B 5・166	1,500	1,500	90	140
土木材料実験指導書	B 5・230	490	490	70	100
水理実験指導書	B 5・80	250	250	70	70
土質実験指導書	B 5・98	340	340	70	70
構造実験指導書	B 5・148	450	450	70	90
測量実習指導書	折込付図 13 新書版・232	450	450	80	80
土木製図基準	A 4・152	1,400	1,200	130	200
第1回土木計画学シンポジウム	B 5・133	700	700	70	100
第2回土木計画学シンポジウム	B 5・120	700	700	70	100
第3回土木計画学シンポジウム	B 5・132	700	700	70	100
第4回土木計画学シンポジウム	B 5・90	700	700	70	100
土木計画学講習会テキスト 1	B 5・122	800	700	70	100
土木計画学講習会テキスト 2	B 5・152	1,200	1,100	70	100
土木計画学講習会テキスト 3	B 5・132	1,200	1,100	70	100
工事報告 川俣アーチダム	B 5・332	2,000	1,600	130	170
工事報告 一ツ瀬, 杉安アーチダム	B 5・538	2,900	2,300	150	200
関門トンネル工事誌	B 5・692	2,000	1,500	200	400
新潟地震震害調査報告	B 5・904	10,000	9,000	200	500
東名高速道路建設誌	B 5・1,008	11,500	9,500	300	500
本州四国連絡橋技術調査報告書付属資料 耐風設計指針(1967)及び同解説	A 4・182	1,200	1,200	100	170
土木技術者のための振動便覧	A 5・436	2,400	2,000	110	170
土木技術者のための岩盤力学	B 5・490	3,600	3,000	130	200
建設技術者のための測定法	A 5・422	2,000	1,800	110	170
日本土木史 (大正元年～昭和15年)	B 5・1,734	12,000	10,000	200	500
大学土木教育の方向を探る—その現状と問題点—	A 5・232	700	700	70	90
明日の国土を築く力 (高校土木教育白書)	A 5・308	700	700	80	100
土木工事の積算	B 5・222	1,800	1,600	100	170
鋼鉄道橋設計標準解説	A 5・370	2,000	1,800	110	170
橋 1967～68	A 4・82	1,500	1,500	100	170
橋 1968～69	A 4・94	1,600	1,600	100	170
橋 1969～70	A 4・94	1,600	1,600	100	170
Civil Engineering in Japan, 1970	A 4・182	1,500	1,500	110	170

## 土木学会出版案内

- ・第 17 回橋梁・構造工学研究発表会（新材料・新工法を用いた構造物における諸問題に関する研究）講演概要

45.12.5 開催，日本学術会議構造研究連絡委員会橋梁構造工学分科会・土木学会・日本建築学会共催  
B 5 判 106 ページ，講演 14 編 定価 1000 円（〒 70 円）

- ・第 7 回衛生工学研究討論会講演論文集

46.1.30～31 開催，土木学会主催  
B 5 判 174 ページ，講演 16 編 定価 1500 円（〒 100 円）

- ・第 15 回水理講演会講演集

46.2.12～13 開催，土木学会主催  
B 5 判 93 ページ，講演 14 編，定価 800 円（〒 80 円）

- ・構造物の耐風性に関する第 1 回シンポジウム（1970）論文集

45.5.8～9 開催，土木学会・日本建築学会・日本気象学会・電気学会・日本鋼構造協会共催  
B 5 判 296 ページ，講演 37 編，定価 1500 円（〒 100 円）

- ・第 3 回岩の力学国内シンポジウム（1970）講演集

45.11.26～27 開催，土木学会・日本材料学会・日本鉱業会・土質工学会共催  
A 4 判 218 ページ，講演 37 編，定価 2000 円（〒 110 円）

- ・流体輸送に関するシンポジウム前刷

B 5 判 142 ページ，講演 10 編，定価 1000 円（〒 100 円）

- ・土木技術者の海外活動別刷

B 5 判 54 ページ 口絵写真 4 ページ 定価 100 円（〒 70 円）

- ・岩盤力学文献目録（第 3 回）

B 5 判 オフセット印刷，58 ページ，国内および国外の 25 雑誌の文献約 860 種掲載  
定価 200 円（〒 50 円）

- ・昭和 45 年度水理学研究の現況

B 5 判 オフセット印刷，15 ページ，国内 72 機関で行なっている研究題目および発表資料約 730 題掲載  
定価 70 円（〒 30 円）郵券可

従来，土木学会誌に登載しておりました上記文献目録および研究の現況は，今回より学会誌登載はとりやめ，単独に印刷することになり，このたび刊行されました。

実費頒布致しておりますので，ご希望の方は，代金を添えてお申込み下さい。

◎申込先：〒 160 東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会刊行物頒布係（電 03 (351) 4132）

# 土木学会田中賞設立を記念して刊行された橋の年鑑

申込先：〒160・東京都新宿区四谷1丁目・土木学会刊行物頒布係 (351) 4131 振替東京 16828  
橋 1966-1967 は絶版となりました。残部僅少のためお早目にお申込み下さい。

## 橋 1967-1968

A 4判 82 ページ

1500 円 (〒150 円)

- 土木学会田中賞設立の趣旨と本年報発刊の目的
- 本州四国連絡橋技術調査報告書の概要
- 1967年度田中賞作品部門受賞作品  
福島第1高架橋 カラー  
名護屋大橋 カラー
- 鋼橋1967年の展望  
箱ヶ瀬橋 / 舞鶴跨線橋 / 瀬詰大橋 / 谷町インターチェンジ / 竜頭の橋 / 水道道路架道橋 / 狭間第6架道橋 / 越ヶ谷架道橋および八ッ道越ヶ谷架道橋 / 姥久保橋 / 大天橋
- コンクリート橋1967年の展望  
想影橋 / 大呼戸沢橋梁 / みなと大橋 / 有田川橋梁 / 瀬田川橋梁 / 小高瀬高架橋
- 1967年竣工主要橋梁一覧
- 1967年度田中賞論文部門受賞論文  
Response of Suspension Bridge to Moving Vehicles (伊藤 学)
- 選考経過報告など

## 橋 1968-1969

A 4判 94 ページ

1600 円 (〒150 円)

- 東名高速道路の橋梁  
—計画・設計・施工の概要—
- 1968年度田中賞作品部門受賞作品  
尾道大橋 カラー  
浜名湖橋 カラー  
第3綾瀬高架橋 カラー
- 鋼橋1968年の展望  
多摩川橋梁 / 無意根大橋 / 荒川・中川橋梁 / 新桂川橋梁 / 第一江戸川橋梁 / 新石狩大橋 / 安芸大橋 / 新瀬戸橋 / 飯田橋歩道橋 / 川崎ターミナル歩道橋 / 横浜駅東口歩道橋 / 新伊東線熱海駅地下道架道橋 / 福島仮設架道橋
- コンクリート橋1968年の展望  
矢作川橋梁 / 荒川P.C.下路鉄道橋 / 荒川東高架橋 / 地震滝橋
- 1968年度竣工主要橋梁一覧
- 1968年度田中賞論文部門受賞論文  
長大吊橋の地震応答と耐震設計法に関する研究 (小西一郎・山田善一・高岡宣善)
- 選考経過報告など

## 橋 1969-1970

A 4判 94 ページ

1600 円 (〒150 円)

### 新 刊

- 都市内高速道路
- 1969年度田中賞作品部門受賞作品  
ホークランド港湾橋 カラー  
首都高速両国大橋 カラー  
阪神高速大和川大橋 カラー
- 鋼橋1969年の展望  
酒匂川橋 / 木根川橋 / 第一平川大橋 / 皆瀬川橋 / 前川渡大橋 / 旭大橋 / 大井水管橋 / 八幡橋 / 御堂筋跨線道路橋 / 御堂筋架道橋 / 阪神国道架道橋 / 大谷橋
- コンクリート橋1969年の展望  
川音川橋 / 東灘第5工区高架橋 / 米代川橋梁 / 総武本線中川放水路橋梁
- 1969年竣工主要橋梁一覧
- 1969年度田中賞論文部門受賞論文  
実働荷重による鉄道橋の疲労被害推定 (伊藤文人)  
(1) 有限変形法による吊橋の解法 (2) 有限変形法に関する2, 3の考察 (後藤茂夫)
- 選考経過報告など